

				事業所における自己評価結果（公表）			
公表：2024年3月7日				事業所名：障害児保育園ヘレン東雲			
		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標		
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		現在は大丈夫だが、さらに園児数が増えると座位保持椅子やバギーを置くことで活動や玄関のスペースが狭くなる。 人数が増えてきて動線の確保が難しくなっている	園児数の増加に伴い、室内のレイアウトや効率的な導線を職員全員で見直していきます。		
	2. 職員の配置数は適切であるか	○		園児数に応じて、複数園勤務スタッフが流動的に動いたり、園長が活動やケアや送迎に入ったりして調整している。 職員が少ない場合は、活動は保育スタッフが活動内容や方法を考えてくれている。どうしても昼食は人手が必要となるが、職員の休憩を遅らせたりすることでなんとかできている。 保育の人数に対して看護師が多い。	今後も登園状況によって複数園勤務スタッフの協力を得ながら適正人数を配置していきます。		
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		人工呼吸器を使用する園児が増えると電源確保で不便が生じるため、保育室に電源がもっとあると良い。 園児の色を決めており、平仮名の読めない児も自分の物が分かるようにしている。段差がないため、自由に動き回ることができている。	園児の使う医療デバイスに応じて、園児にも職員にも安全な導線や配置を職員全員で検討していきます。		
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		大きく不便していることはないが、園児用手洗い場でお湯が出ると良い。 毎日掃除している。必要時には都度行っている。			
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		少人数のスタッフであることを強気に、些細なことでも意見出し合い改善に繋げている。			
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		園児との関わりにおいて特に活かしている。 NPSや事業所評価や個別面談で意向を確認している			
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公開の有無を把握できていない。	事業所自己評価の結果や改善目標は弊会HPで公開しています。		
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	評価実施の有無を把握できていない。	第三者による外部評価は行っておりません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております。		
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		在園児とスタッフ個人のに応じた研修を受ける機会がある。			
10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		子どもとの関わりの中での気づきを日々ご家族情報共有しながら、ニーズや課題を捉えることに努めている。 日頃から居宅などで保護者と話す機会を大切にしている				

	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		看護師は、標準化されたアセスメントツールではなく、ご家族や主治医、その他関係機関と情報共有しながら、スタッフ間で意見交換し状況を図っている。	現在はご家族や関係機関との情報共有のもとに、職員間で意見交換しながらアセスメントを行っています。今後、標準化されたアセスメントツールの使用を検討していきます。
適切な支援の提供	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		実施の有無を把握できていない。	ガイドラインに示された内容に則って適切に支援計画を作成し、保護者の同意を得て実施しています。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		他のスタッフと支援方法を意見交換しながら支援している。	
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		保育計画の立案は保育スタッフが中心となって行い、看護スタッフもプログラム実現のための工夫を検討している。 保育で話し、全体で共有して方向性を示している	
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		似ているプログラムを行う場合は、細かい設定を変えて違いを出している。	
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		今後取り入れていこうと検討している。	集団活動を中心におきながら、適宜個別活動も組み合わせています。今後も児の状況に応じて計画を作成していきます。
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		個人的な振り返りや、一部のスタッフとの感想・意見の共有はすることはよくあるが、全員で行うことは少ない。	
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	関係機関や保護者との連携	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○			必要時には保健センターや保健師さんとの連携を行っています。
23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			
24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		日頃から情報共有や連携をしている。 MCS導入し、リアルタイムでの相談や情報共有が行えている。必要時にはミーティングを開催している。	
25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		今後していきたい	転園が決まった場合/転園可能性がある場合に実施しています。

連携	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			卒園・入学が決まったお子さんに関して、進学先と情報共有を行っています。
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達センターと情報共有を行ったり、助言を受けています。今後も連携し多面的に園児を支援していきます。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		活動の機会を増やしているところである。 みんつくとこの合流を増やしていく 同法人の保育園や、地域の幼稚園など。	
	29. (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今年度より、江東区障害児者自立支援協議会の児童部会（医療的ケアグループ）に参加しています。
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			ご家族支援についてプログラム化はしておりません。ご家族の状況やニーズを聞かせていただき、それに応じた支援を行っています。
保護者への説明責任等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインについては説明していない。	ガイドラインに則った個別支援計画を作成し、保護者にご説明の上同意を得ています。
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		計画を立てて定期的に行っている	
		○		年に数回行事を設定している	
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		必ず一旦園に持ち帰り、園全体で話し合ってから保護者にお伝えしている。	
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子	○			
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		近隣の事業所と連携してのイベント開催を行っている	近隣の保育園・幼稚園と連携してのイベントを開催しています。
41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に行っている。		
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に行っている。	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事	○			

業所内で共有しているか	○			
46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			